【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成27年3月5日(2015.3.5)

【公表番号】特表2014-502915(P2014-502915A)
【公表日】平成26年2月6日(2014.2.6)
【年通号数】公開・登録公報2014-007
【出願番号】特願2013-550612(P2013-550612)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　6/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　6/00　３００Ｓ
Ａ６１Ｂ　6/00　３００Ｗ

【手続補正書】
【提出日】平成27年1月15日(2015.1.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
各々がフォトダイオード及びトランジスタを含んでいる複数の個別画素の配列を有するディジタルＸ線検出器において、前記個別画素の前記トランジスタに第１の電圧を印加する段階と、
前記第１の電圧よりも更に負である第２の電圧を、そのときサンプリングされていない前記個別画素の前記トランジスタに印加しながら、前記個別画素からデータをサンプリングすることによって、Ｘ線画像データの取得を準備する段階と、
線源からのＸ線を前記検出器で受ける段階と、
そのときサンプリングされていない前記個別画素の前記トランジスタに前記第２の電圧を印加しながら、前記個別画素からＸ線画像データをサンプリングする段階と、
有するＸ線イメージング方法。
【請求項２】
Ｘ線画像データからユーザー観察可能な画像を再構成する際に使用するために、Ｘ線を受ける前にサンプリングされたデータを保存する段階を有している請求項１記載の方法。
【請求項３】
前記第１及び第２の電圧は前記トランジスタを非導電状態に維持する、請求項１または２に記載の方法。
【請求項４】
前記第２の電圧は、前記検出器によってＸ線を受けている間、そのときサンプリングされていない前記個別画素の前記トランジスタに印加される、請求項１乃至３のいずれかに記載の方法。
【請求項５】
前記個別画素からのＸ線画像データのサンプリングを終了し、前記検出器によるＸ線の受け取りの終了後に前記個別画素の前記トランジスタに前記第１の電圧を再印加する段階を有する請求項１乃至４のいずれかに記載の方法。
【請求項６】
前記第２の電圧は前記第１の電圧とは異なる、請求項１乃至５のいずれかに記載の方法。
【請求項７】

各々がフォトダイオード及びトランジスタを含んでいる複数の個別画素の配列を有するディジタルＸ線検出器において、Ｘ線を受ける前に前記個別画素の前記トランジスタに第１の電圧を印加する段階と、
前記第１の電圧よりも更に負である第２の電圧を、そのときサンプリングされていない前記個別画素の前記トランジスタに印加しながら、Ｘ線を受けている間に前記個別画素からデータをサンプリングする段階と、
を有するＸ線イメージング方法。
【請求項８】
Ｘ線の受け取りの終了後に前記個別画素の前記トランジスタに対する前記第１の電圧の印加を再開する段階を有する請求項７記載の方法。
【請求項９】
そのときサンプリングされていない前記個別画素の前記トランジスタに前記第２の電圧を印加しながら、前記個別画素からＸ線画像データをサンプリングする段階を有する請求項７または８に記載の方法。
【請求項１０】
前記Ｘ線画像データからユーザー観察可能な画像を再構成する際に使用するために、Ｘ線を受ける前にサンプリングされたデータを保存する段階を有している請求項９記載の方法。
【請求項１１】
前記第１及び第２の電圧は前記トランジスタを非導電状態に維持する、請求項７乃至１０のいずれかに記載の方法。
【請求項１２】
前記第２の電圧は前記第１の電圧とは異なる、請求項７乃至１１のいずれかに記載の方法。
【請求項１３】
各々がフォトダイオード及びトランジスタを含んでいる複数の個別画素の配列を有するディジタルＸ線検出器と、
前記個別画素の前記トランジスタに第１の電圧を印加し、次いでＸ線画像データの取得の準備のために、前記第１の電圧よりも更に負である第２の電圧を、そのときサンプリングされていない前記個別画素の前記トランジスタに印加し、次いでそのときサンプリングされていない前記個別画素の前記トランジスタに前記第２の電圧を印加しながら、Ｘ線を受けている間に前記個別画素からデータをサンプリングするように構成されている検出器制御回路と、
を有するＸ線イメージング・システム。
【請求項１４】
前記検出器制御回路は、Ｘ線の受け取りの終了後に前記個別画素の前記トランジスタに対する前記第１の電圧の印加を再開するように構成されている、請求項１３記載のシステム。
【請求項１５】
前記検出器制御回路は、そのときサンプリングされていない前記個別画素の前記トランジスタに前記第２の電圧を印加しながら、前記個別画素からＸ線画像データをサンプリングするように構成されている、請求項１３または１４に記載のシステム。
【請求項１６】
前記検出器制御回路は、前記Ｘ線画像データからユーザー観察可能な画像を再構成する際に使用するために、Ｘ線を受ける前にサンプリングされたデータを保存するように構成されている、請求項１５記載のシステム。
【請求項１７】
前記第１及び第２の電圧は前記トランジスタを非導電状態に維持する、請求項１３乃至１６のいずれかに記載のシステム。
【請求項１８】

前記第２の電圧は前記第１の電圧とは異なる、請求項１３乃至１７のいずれかに記載のシステム。
【請求項１９】
前記検出器は前記検出器制御回路を有している、請求項１３乃至１９のいずれかに記載のシステム。
【請求項２０】
前記検出器制御回路は、トランジスタ漏洩を低減するように構成されている、請求項１３乃至１９のいずれかに記載のシステム。
【請求項２１】
各々がフォトダイオード及びトランジスタを含んでいる複数の個別画素の配列と、
前記個別画素の前記トランジスタに第１の電圧を印加し、次いでＸ線画像データの取得の準備のために、前記第１の電圧よりも更に負である第２の電圧を、そのときサンプリングされていない前記個別画素の前記トランジスタに印加し、次いでそのときサンプリングされていない前記個別画素の前記トランジスタに前記第２の電圧を印加しながら、Ｘ線を受けている間に前記個別画素からデータをサンプリングするように構成されている検出器制御回路と、
を有するディジタルＸ線検出器。